

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①新学習指導要領を踏まえた効果的な学習指導を進めることにより、ものづくりの現場や新たな社会(Society 5.0)で求められる、職業人としての専門的かつ実践的な技術・技能と、それを支える基礎的学力の着実な定着を目指す。 ②特別活動への取組から、他者との協働を進める上で必要となる資質と能力を育成する。	・新教育課程の教育内容を充実させ、社会変化に対応できる生徒の育成を目指す。また評価にあっては一人ひとりの資質・能力に対応した規準・基準を工夫し「一人取り残さない」指導・支援を行う。① ・ICT 利活用や DX ハイスクール事業を推進し、技術・技能向上の為の様々な企画に取り組み、学校の専門性を深化させる。① ・学校行事や生徒会活動を充実させることで、生徒の自己肯定感を向上させると共に、他者との協働の機会の中で生徒の成長を促す。②	・授業改善研修を定期的に行い、教科や世代を超えた授業改善に関するアイデアを共有し改善に活かす。① ・ICT 利活用授業研究、DX ハイスクール事業等の推進のためカリキュラムマネジメントに取り組むとともに、各種イベントやものづくりによる地域貢献活動などにおいて学習成果を活かした活動を実践する。① ・学校行事や生徒会活動に対する生徒の意見や要望を調査し、生徒会を軸にした活動の活性化を図る。②	・授業改善に関する取組や、各事業の成果をまとめる事ができたか。① ・各種イベントや地域貢献活動において生徒が学習成果を活かした活動を実践できたか。① ・ICT 利活用の実践により授業改善が進んだか。DX ハイスクール事業の推進により、デジタル人材の育成に向けた取組は効果的に実践できたか。① ・学校行事や生徒会活動を充実させるための検討と実践ができたか。全校生徒へのアンケートで、肯定的な回答を3/4以上得られたか。②					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①豊かな人間性と社会性、及びコミュニケーション能力の育成に向けた指導を推進する。 ②全ての生徒の学校生活がより良いものとなるよう、教育相談及び支援教育体制を充実させ、一人ひとりに対し丁寧な対応を行う。	・部活動における様々な取組を通し人間性とコミュニケーション能力の向上を図る。① ・「基本的生活習慣の確立」と「マナーを含むソーシャル・スキルの向上」に資する指導と支援を推進する。① ・教育相談・支援教育に学校全体で共通認識を持ち、SCやSSWのほか外部機関とも連携し組織的に対応する。② ・高校選択に際してミスマッチの生徒も多いことから、学習意欲、登校意欲を向上させる支援を行い、50名近かった転退学者を減少させる。②	・部活動の内容を充実させるとともに、生徒に自らの成長を実感させる指導に努める。① ・「基本的生活習慣の確立」と「マナーを含むソーシャル・スキルの向上」に資する指導及び問題行動の予防的指導に、支援の視点からのアプローチを行う。① ・コア会議を通じて生徒の困り感や発達のアセスメントを的確に行い、SSWやSCのほか外部機関との連携を図り生徒一人ひとりに対応した組織的な不登校支援や発達支援などの計画と実施を行う。②	・部活動への参加生徒が増加したか。部員へのアンケートで、肯定的な回答を3/4以上得られたか。① ・「基本的生活習慣の確立」と「マナーを含むソーシャル・スキルの向上」は進んだか。問題行動の発生を防止するための取組は進められたか。問題行動は減少したか。① ・日常的な教育相談やサポートドック、個人面談を通じて、様々な生徒に対する状況の確認と効果的な支援を実施する事ができたか。②					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①地域や社会の発展を担う職業人に求められる能力や態度を育成するとともに、自らの可能性への気づきを促すキャリア教育を効果的に実施する。 ②生徒が望む進路の実現を支援するため、それぞれに対しきめ細かな進路指導を進める。	・キャリア教育を充実させるため、自己理解や職業理解を促す効果的な指導を各学年段階に合わせ実践する。① ・すべての生徒・保護者が望む進路を実現させるとともに、的確な情報を提供するなどミスマッチを防ぐための指導を行う。②	・外部講師や企業と連携したガイダンスを実施するとともに、就業体験活動や出前授業を取り入れながら生徒それぞれのキャリア発達を促す指導を推進する。① ・就職や進学に係る情報を効果的に提供するための対応を適切に行う。②	・キャリア教育や進路指導に対する生徒や保護者の満足度は高いか。アンケートで肯定的な回答を3/4以上得られたか。①② ・就職や進学など生徒・保護者が希望する進路を、全ての卒業生に実現させることはできたか。②					
4	地域等との協働	①連携・協働により地域に貢献し愛される学校づくりを進める。また各種の活動を生徒の課題解決能力の伸長や人間的成長に繋げる機会とする。 ②地域とともにある学校としての認知度を向上させるため、積極的に情報発信を行う。	・大規模災害の発生に備え、引き続き地域の自治体や町内会、また企業等との連携を強化しながら対応を進める。① ・本校での学習により身に付けた知識や技能を活用し、地域連携や地域に貢献する活動に取り組む。① ・本校の魅力特色を地域や中学生に発信し、学校理解を促し志願倍率の向上を目指す。②	・災害に対する備えについて各種の点検を行う。また自治体や近隣の町内会、地域の企業等と連携した防災訓練を実施する。① ・地域の各種のイベント等に積極的に参加し、地域に貢献する。① ・HP、SNS等を活用しスピーディな情報発信を行う。② ・説明会等で、ホスピタリティを重視して、新規に中学生を獲得する。	・防災に関連した点検を行い、課題を改善できたか。地域と連携した防災訓練を効果的に実施できたか。① ・イベント等への来場者や関係者から評価を得ることはできたか。① ・HP、SNSの閲覧数や更新回数を増加させられたか。② ・説明会等の来場者は増加したか。アンケートで肯定的な回答を3/4以上得られたか。志願倍率は向上したか。②					
5	学校管理 学校運営	①安全安心に活動できる教育環境を整備するため、施設設備の充実、事故や災害への対策を進める。 ②学校運営の組織的な改善や事故・不祥事の発生防止に取り組み、社会の信頼と期待に応える学校づくりに努める。	・教育活動を安全安心に行うため、校内環境の整備と改善を進める。① ・ICT利活用授業研究やDXハイスクール事業を推進するための環境や施設設備の充実を図る。① ・事項不祥事防止に向けた体制の整備と、職員の意識を向上させる働きかけを引き続き行う。②	・校内の施設・設備の充実と安全の確保、引き続き校内の美化に係る活動に取り組む。① ・教室の配置変更に対応するため、Wifi環境の整備が必要になった箇所の対応を進める。② ・啓発研修を継続的に実施するとともに、マニュアルや作業手順の点検と整備を行う。②	・施設設備の点検・整備、また破損個所や危険個所の改善ができたか。校内美化や廃棄物の適切な処理を推進できたか。① ・校内の教室、実習室においてWifi環境が整ったか。① ・職員の意識向上に寄与する取組や、事故不祥事防止に向けた取組を実践できたか。②					